

1917

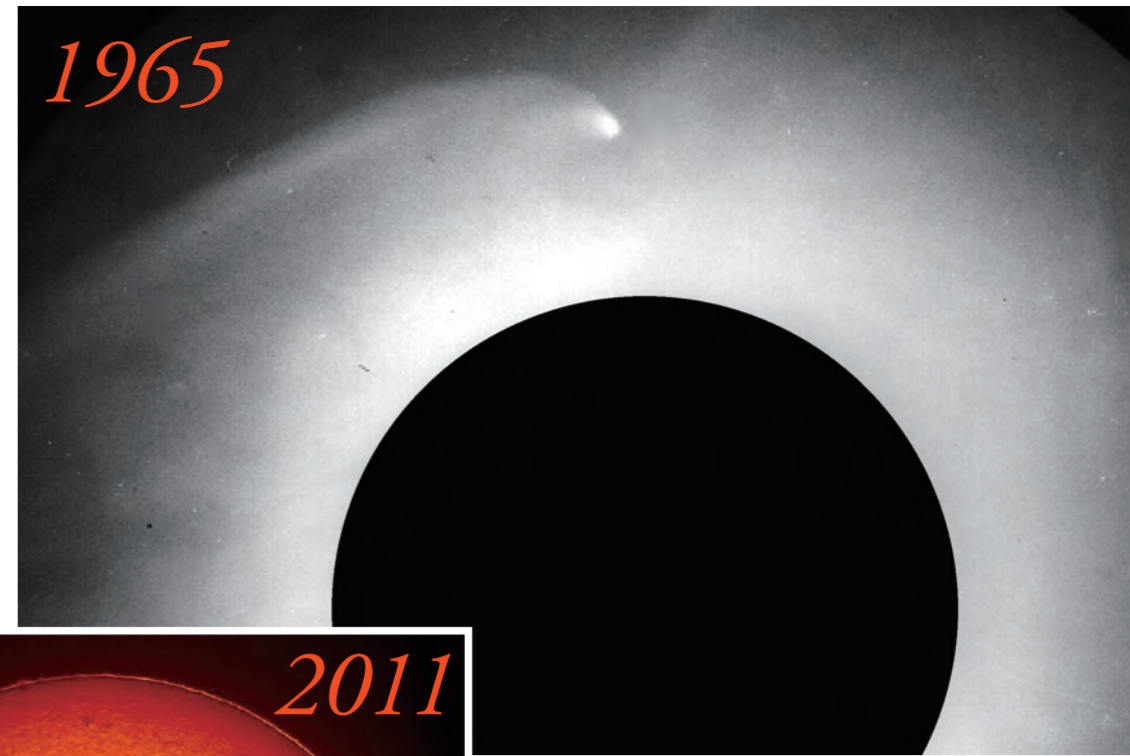


CaK線像 (スペクトロヘリオグラフ/テッファー製)

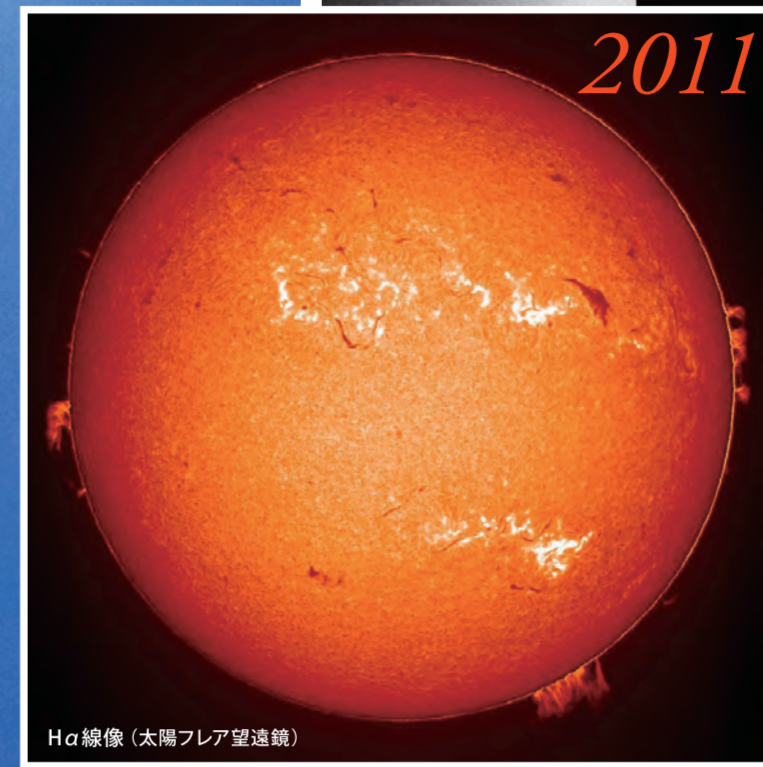
1930

太陽塔望遠鏡 (アインシュタイン塔)

池谷・関慧星 (乗鞍10cmコロナグラフ)



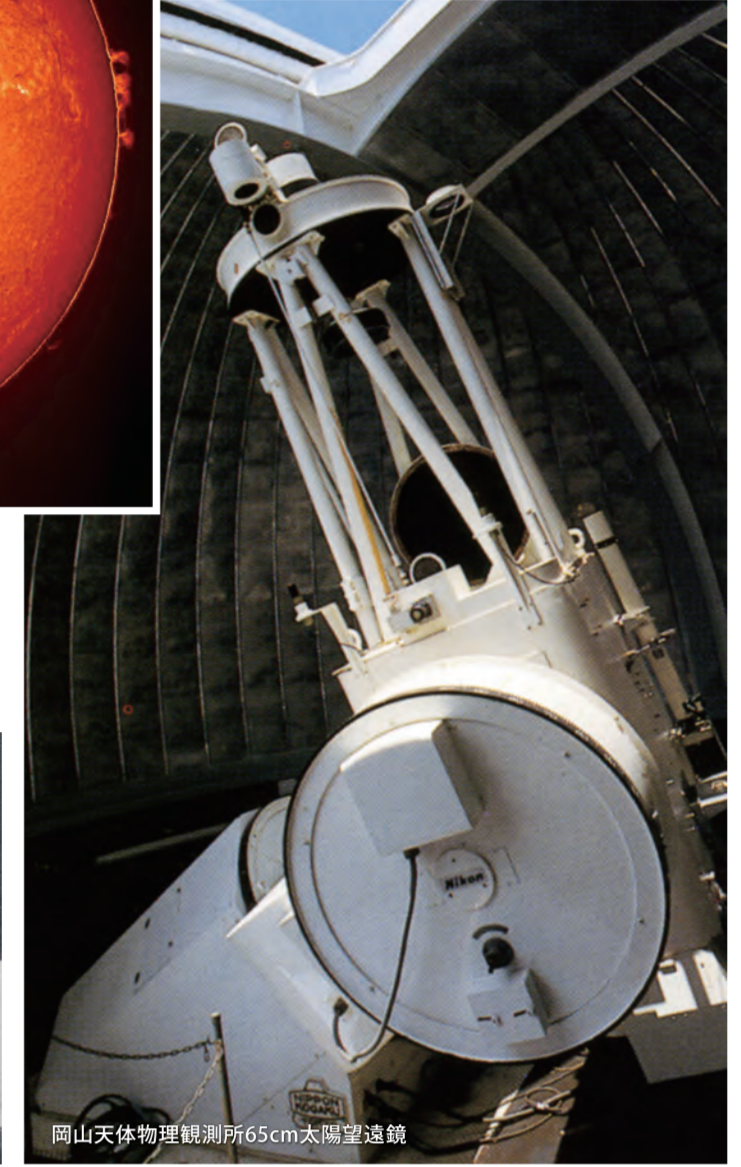
1965



2011

Ha線像 (太陽フレア望遠鏡)

1968



岡山天体物理観測所65cm太陽望遠鏡

1888

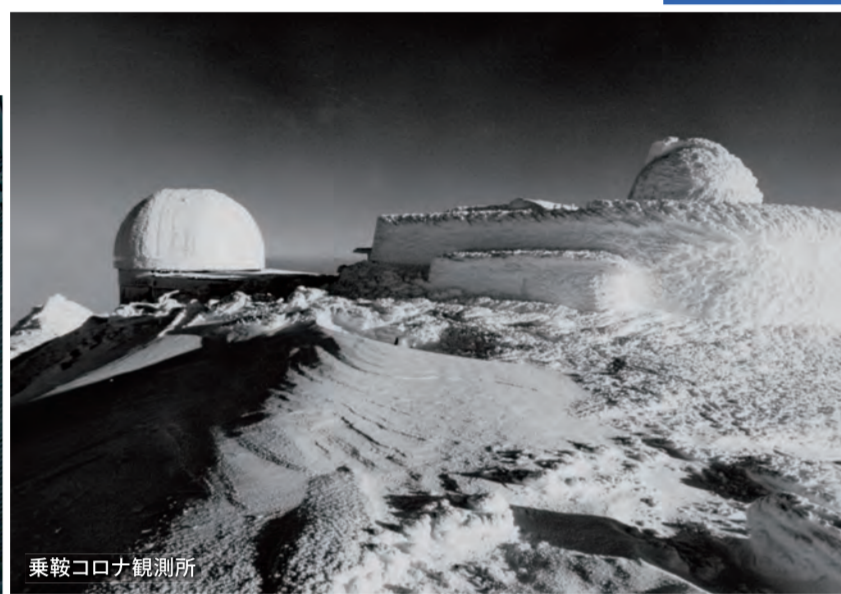
20cm赤道儀望遠鏡 (トローン・シムス製)



1938



20cm赤道儀望遠鏡 (カール・ツークイス製)

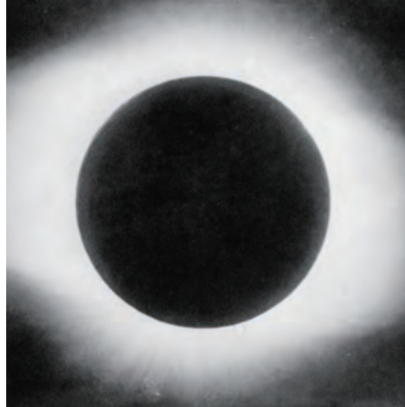


乗鞍コロナ観測所

1949

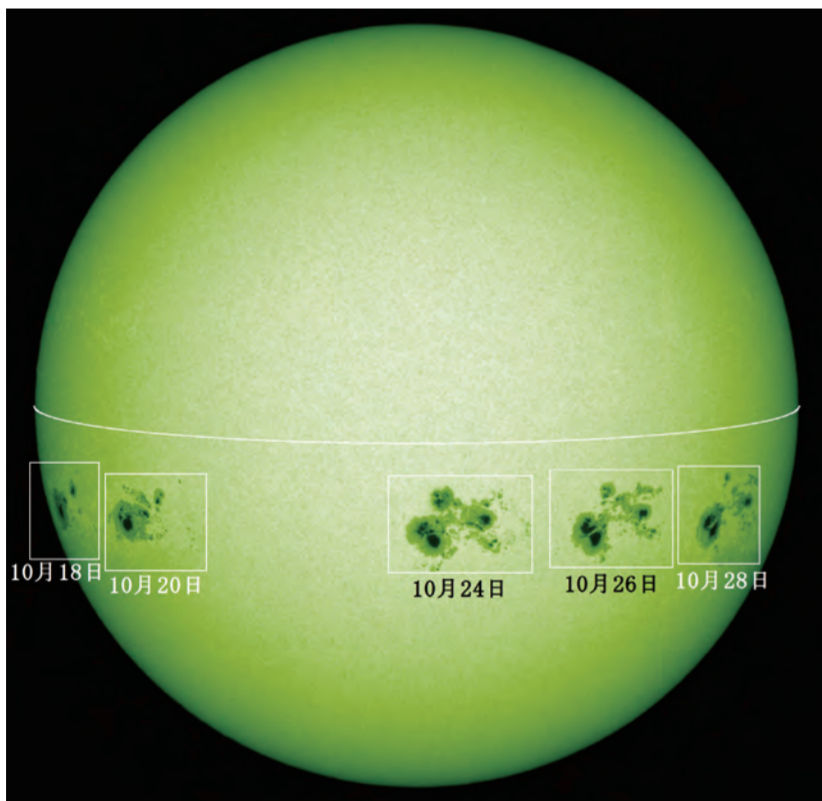
1934

ローソップ島の皆既日食コロナ



25cmコロナグラフ

1972



2014

巨大黒点 (太陽フレア望遠鏡)

世紀を超えて。



1990

太陽フレア望遠鏡

日々、太陽面に現れる黒点。突然起こる太陽フレア爆発やプロミネンスの噴出。謎に満ちたコロナの輝きや太陽活動の源となる太陽磁場の振る舞い……。その千変万化に世紀を超えて私たちは、今日も太陽を見続けています。

太陽は私たちに多くの恵みを与える星です。国立天文台では地上からさまざまな望遠鏡を使って太陽の観測を100年余り続けてきました。最初は東京麻布から。時には乗鞍岳や岡山で。そして、今は三鷹で。

since 1888

太陽観測所

Solar Observatory